

～今号の内容～

- ・研究所ピック
- ・お知らせ

研究所ピック

【飛騨牛研究部】

「令和6年度の和牛種雄牛産肉能力直接検定牛(種雄牛候補牛)を全頭導入しました」

飛騨牛研究部では、高品質牛肉生産と優良繁殖用後継牛生産のための種雄牛造成を目的として、毎年度、和牛種雄牛産肉能力検定(直接検定)を実施しており、令和6年度に検定を開始する直接検定牛10頭の導入が完了しました。検定牛は造成方針に沿って選抜された基礎雌牛に指定交配を実施し、得られた雄産子の調査により将来の種雄牛候補が選抜されます。今回導入した検定牛は「系統の維持と飛騨牛の特徴(サシの形状・脂質)の改良」あるいは、「飛騨牛の特徴形質に優れる藤良系種雄牛の造成」を種雄牛造成方針として選抜しており、当研究所からも2頭が選抜されています。

直接検定は導入後、予備飼育期間(約20日間)を設け検定場所および検定飼料などの検定環境に馴致させ、その後16週間(112日間)で検定を実施します。検定牛は年度当初から随時導入しているため、既に検定が終了している牛もいますが、全頭の検定が終了するのは令和7年6月となります。今後、「飛騨牛改良推進事業専門委員会」において、この10頭の中から直接検定成績のほか産肉能力に関する育種価、血統等を考慮し、現場後代検定を実施する待機種雄牛3頭が選抜されます(令和7年5月予定)。

No.	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10		
検定牛	名号	光利清	伊豆花	光福	八本原10	月桂樹	花福704の2	桐丸桜	清俊平	羽根真理5673	福平684の5	
	生年月日	R05.09.14	R05.11.03	R05.11.23	R05.12.22	R06.01.06	R06.02.22	R06.03.24	R06.04.03	R06.06.06	R06.08.08	
血統	登記記号番号	2023子飛黒2160	2023子飛黒2564	2024子飛黒53	2024子受卵飛黒54	2024子都黒3	2024子飛黒689	2024子飛黒708	2024子飛黒1139	(申請中)	(申請中)	
	父	花清光	花福桜	花清光	孝隆平	花福桜	花福桜	花福桜	花清570の8	花清光	福平国	
	2代祖	花清国	花清国	勝平正	花清国	広景福	孝隆平	白清85の3	安俊晴	福平国	花福桜	
	3代祖	利優福	羅威傅王	福之国	羅威傅王	羅威傅王	光平福	光平福	羅威傅王	福平国	白清85の3	花清国
	4代祖	白清85の3	糸福	福桜(宮崎)	飛騨白清	安福	白清85の3	平茂勝	白清85の3	光平福	利優福	
	5代祖	平茂清	竜雲	安平	紋次郎	平茂勝	飛騨白清	安福	平茂勝	糸福	糸福	
	母	にいな	いずひめ9	たかみな	だいごくの2	まめひろ	たか586の13	きりこ	しげとし	くまみつのまり7	はなぶ658の1	
登録番号	黒原1678249	黒高225931	黒高227406	黒原1562475	黒原1722725	黒原1859484	黒原1678248	黒原1875032	黒2594212	黒2663332		
開始時日齢(日)	257	256	236	242	227	250	219	209	229	201		
検定期間 (112日)	組	I	II	II	III	III	IV	IV	IV	V	VI	
	開始	R06.05.28	R06.07.16	R06.07.16	R06.08.20	R06.08.20	R06.10.29	R06.10.29	R06.10.29	R07.01.21	R07.02.25	
終了	R06.09.17	R06.11.05	R06.11.05	R06.12.10	R06.12.10	R07.02.18	R07.02.18	R07.02.18	R07.02.18	R07.05.13	R07.06.17	
繁殖者	住所	高山市丹生川町	高山市国府町	高山市朝日町	高山市丹生川町	郡上市高鷲町	高山市清見町	高山市上宝町	高山市久々野町	下呂市萩原町	高山市清見町	
備考				育種 ET		(畜産研究所)	育種	育種	育種	育種 ET	(畜産研究所)	

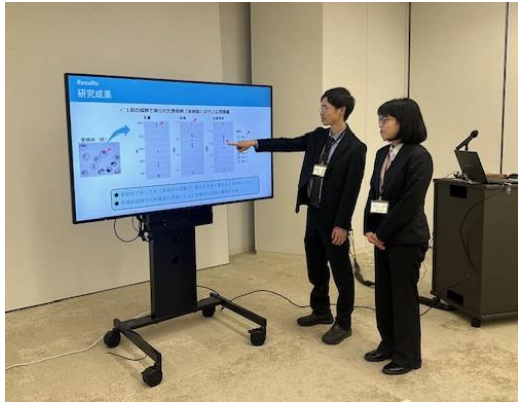
令和6年度 和牛種雄牛産肉能力直接検定牛

【酪農研究部】「県政記者クラブとの勉強会で研究成果を発表」

令和6年11月15日(金)に県庁2002会議室において「ゲノム解析により乳牛の能力を受精卵段階で予測可能に」の発表を行いました。

これまでうまれるまで予測できなかった乳牛における姉妹間での乳量等の能力の差を受精卵段階で判別できるようになり、国内の乳牛で初めて実証できました。この技術により、酪農家が求めるタイプの乳牛を提供すること、また従来よりも効率的な遺伝的改良が可能となります。

当日は熱心な質疑応答が行われ、新聞記事として掲載されました。これからは酪農家に役立つ試験研究を行っていきます。



研究成果発表会の様子



会場での展示

【養豚・養鶏研究部】「新豚舎エリア整備の進捗について」

令和5年10月に着工した養豚・養鶏研究部の「豚舎エリア建築工事」では、給餌や糞を自動化したウインドウレス豚舎や、各豚舎をつなぐ渡り廊下などの新豚舎エリアの整備を進めています。令和6年度内に完成予定で、現在、小規模一貫豚舎で再造成中の種豚「ポーノブラウン」について、令和7年度からは新豚舎エリアでの改良増殖を進めていきます。



整備が進む新豚舎エリア [R6.12 撮影]

お知らせ

【飛騨牛研究部】令和6年度第2回現場後代検定枝肉研究会の開催について

今年度の種雄牛候補牛の産肉能力検定に係る枝肉研究会を次のとおり開催します。

種雄牛：義景竜(よしかげりゅう) <血統：孝隆平-花清国-広景福>

日時：令和7年1月27日(月) (枝肉参観) 9:30~10:45

(枝肉研究会) 11:00~12:00

場所：飛騨ミート農業協同組合連合会

(枝肉参観) 食肉センター

(枝肉研究会) 飛騨牛会館

岐阜県畜産研究所 ホームページ<http://www.livestock.rd.pref.gifu.lg.jp>

□ 飛騨牛研究部

〒506-0101 高山市清見町牧ヶ洞 4393-1 Tel:0577-68-2226 Fax:0577-68-2227

□ 酪農研究部

〒509-7601 恵那市山岡町久保原 1975-615 Tel:0573-56-2769 Fax:0573-56-2974

□ 養豚・養鶏研究部

〒501-3924 関市迫間 2672-1

Tel:0575-22-3165 Fax:0575-22-3164